

◆◆◆ 全国手話研修センター後援会ニュース 2014-vol.5 ◆◆◆

✿新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。
後援会活動への皆様のご支援に心からお礼申し上げます。



2014年度の後援会会員目標の一万名達成は厳しい状況です。ただ、全国手話研修センター支援の寄付金500万円は当初予定通り実現できる見通しです。

2014年度の全国的なろうあ運動は、一番に手話言語法の制定のための全国市町村議会による国への意見書採択が80%近くになり、手話言語法がより現実的なものになっています。

なによりも、全国市町村議会で手話の協議が行われている事は、手話に対する認識が飛躍的に高まっている事を意味します。

これからは、養成・派遣・設置が大きく進んで行く事でしょう。そのために、受け皿作りが本当に重要になります。この受け皿は、全国の協会が中心になって実施していかなければなりません。

これを支えるのが全国手話研修センターです。手話に対する認識が高まり、手話が国民に広がることは、受け皿に対する要求も高まり、質と量が求められてきます。今こそ、全国手話研修センターと都道府県ろうあ協会、手話関係者が連携して取り組む時期ではないでしょうか。

そのためには、全国手話研修センターをより充実させなければなりません。

後援会がこれに寄与できる力を育み、手話言語法で訴える内容の実現を目指して行きましょう。

2015年はまさにそのための礎を築く年となるでしょう。関係各位の心を一つにして、後援会に結集して下さい。

心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人全国手話研修センター後援会
会長 清田 廣

☆仲間とともに成長したい

私には素晴らしい仲間が大勢います。少年期を学び舎で共に過ごした「クラス会」。ろうあ運動に足を踏み入れて、初めて出会った「青年部仲間」。日本で開催した世界ろうあ者会議で裏方を担い、励ましあった「通訳部会のスタッフ」。誰からともなく誘いあって、全国ろうあ者大会の後、温泉につかる「裸の付き合い仲間」など等。いずれも、20～50年の付き合いをいただいている仲間にもまれ、支えられています。



長年のお付き合いをいただくようになった基になるのが「同じ苦労をした仲間」なので、一度の出会いで終わることなく5年、10年と続いてきたのではないかと考えています。

「全国手話研修センターの理事長を！」と声をかけられた時は、研修センターの「経営が芳しくない」といううわさが風の便りで届く時期でした。私でなくても他に理事長にふさわしい人は大勢いるのだから・・・と逃げたかったのですが、断ったら他の人に苦労を押し付ける事になる・・・これは大変な話を持ち込まれたと頭を抱えましたが、考えてみると私には素晴らしい仲間が大勢いる、仲間を信じよう・・・と飛び込みました。確かに難しい経営に直面していましたが暗い話から、良い方向に持っていく話が次々と出され実行に移されました。

最初に立ちあがったのが、全国手話研修センターの設置主体となった、一般財団法人全日本ろうあ連盟と一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会が声を掛け合って「後援会」を組織して全国的に全国手話研修センターの存在意識を高める活動を広めてくれた事です。

清田会長が言っているように、一口1000円の会費を五口、十口と資金的に支援してくれる事は助かりますが、「より多くの方が会員になっていただく事によってセンターとのつながりを深め、結びつくことによって全国手話研修センターが支えられる」というお話は手話研修センターを預かる者として重く受け止めています。私にとっては後援会という新しい仲間を大切に、大きな輪にして行きたいと思っています。

社会福祉法人全国手話研修センター
理事長 黒崎 信幸

● 2014年度会員数（1月14日現在）

都道府県	合計	ろう	健聴	目標	進捗
北海道	119	50	69	510	23.3%
青森県	84	48	36	140	60.0%
岩手県	43	18	25	100	43.0%
宮城県	20	4	16	160	12.5%
秋田県	38	15	23	70	54.3%
山形県	50	29	21	90	55.6%
福島県	108	46	62	200	54.0%
東北計	343	160	183	760	45.1%
茨城県	19	11	8	130	14.6%
栃木県	31	20	11	160	19.4%
群馬県	89	55	34	200	44.5%
埼玉県	121	44	77	610	19.8%
千葉県	124	45	79	280	44.3%
東京都	148	83	65	750	19.7%
神奈川県	43	23	20	390	11.0%
山梨県	33	16	17	100	33.0%
関東計	608	297	311	2,620	23.2%
新潟県	20	6	14	140	14.3%
長野県	92	10	82	170	54.1%
富山県	48	18	30	120	40.0%
石川県	41	24	17	160	25.6%
福井県	15	6	9	60	25.0%
北信越計	216	64	152	650	33.2%
岐阜県	44	30	14	150	29.3%
静岡県	241	106	135	340	70.9%
愛知県	320	161	159	520	61.5%
三重県	41	19	22	190	21.6%
東海計	646	316	330	1,200	53.8%
滋賀県	83	23	60	170	48.8%
京都府	204	76	128	330	61.8%
大阪府	508	281	227	750	67.7%
兵庫県	109	23	86	430	25.3%
奈良県	146	74	72	140	104.3%
和歌山県	71	41	30	130	54.6%
近畿計	1,121	518	603	1,950	57.5%
鳥取県	53	17	36	60	88.3%
島根県	18	2	16	70	25.7%
岡山県	114	42	72	190	60.0%
広島県	22	3	19	280	7.9%
山口県	28	3	25	110	25.5%
中国計	235	67	168	710	33.1%
徳島県	15	3	12	40	37.5%
香川県	42	21	21	100	42.0%
愛媛県	16	3	13	120	13.3%
高知県	72	21	51	90	80.0%
四国計	145	48	97	350	41.4%
福岡県	145	51	94	450	32.2%
佐賀県	17	5	12	50	34.0%
長崎県	127	55	72	190	66.8%
熊本県	40	9	31	140	28.6%
大分県	37	8	29	160	23.1%
宮崎県	11	4	7	100	11.0%
鹿児島県	36	9	27	80	45.0%
沖縄県	8	0	8	80	10.0%
九州計	421	141	280	1,250	33.5%
合計	3,854	1,661	2,193	10,000	38.5%

*活動報告 11月23日：関東ブロック学習会
（講師 小椋副会長）

関東ブロック学習会～2014.11.23～

東京渋谷のリフレッシュ氷川にて、研修センター後援会学習会を、関東ろうあ連盟・関東手話通訳問題研究会・日本手話通訳士協会協力の下、開催することができました。参加人数は40名と少人数でしたが楽しく充実した学習会となりました。

学習内容は、日本手話通訳士協会会長の小椋英子氏より「手話を学ぶ楽しさ」というテーマで講演をいただきました。小椋氏の手話人生の中で、聴覚障害者と手話を通して関わることで考えさせられた出来事を話されました。手話単語を学ぶだけでなく、聴覚障害者の手話から学ぶ大切さを実感しました。



次に関東ろう連盟理事の小椋武夫氏が、「新しい手話単語」からクイズ形式で参加者全員と単語力を磨きました。聴覚障害者から学ぶ手話も、新しく研究された手話も、中心となるのは全国手話研修センターの事業です。このセンターが重要かつ継続的に運営されていく必要があります。そのために研修センター後援会が発足したことを伝え、後援会入会PRを行いました。

関東は研修センターから遠く利用する機会が少ないことや、後援会の活動状況がわからず、入会が少なかったのですが、この学習会をきっかけに後援会の意味や活動が理解していただけたと思います。今後もこのような学習会を企画し会員拡大に努めたいと思います。（桐原委員）

ご入会はお早めに！

後援会会員は、現在3,854人です。地域でも、お誘いの声がかかると思います。今から入会していただきましても、会員特典は十分ご利用いただけます。ご入会をお待ちしております。

